参考資料―1

平成24年度

中城湾港泡瀬地区環境監視委員会

第1回　委員会資料

事業進捗状況及び平成24年度工事予定

平成24年7月30日

内閣府沖縄総合事務局開発建設部
沖　縄　県　土　木　建　築　部
一般財団法人みなと総合研究財団

目　　次

１．　平成23年度までの実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1

２．　事業実施状況と今後の予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2

３．　工事における環境監視について

海上工事の濁り監視地点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3～4

参考 工事中の濁り監視地点の配置の考え方（平成24年度）・・・・P5

参考 工事におけるモニタリングフィードバック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6～7

1. 平成23年度までの実施状況

2. 事業実施状況と今後の予定

区分	工　　種	工　事　概　要（予定）	平成24年度											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
国	護岸工事	・イ護岸改良　L=650m ・護岸・仮設道路補修　1式					―	―	―	―	―	―	―	―
	浚渫工事	・浚渫土砂　V=38万m^3 （新港地区20万m^3、泡瀬地区18万m^3） ・埋立土砂　V=38万m^3						―	―	―	―	―	―	―
県	突堤（西）工事	基礎工、被覆工 L=62m						―	―	―	―	―	―	―
	突堤（東）工事	基礎工、被覆工 L=96m（突堤）、L=18m（潜堤）						―	―	―	―	―	―	―
	中仕切り堤工事	基礎工、被覆工 L=90m						―	―	―	―	―	―	―

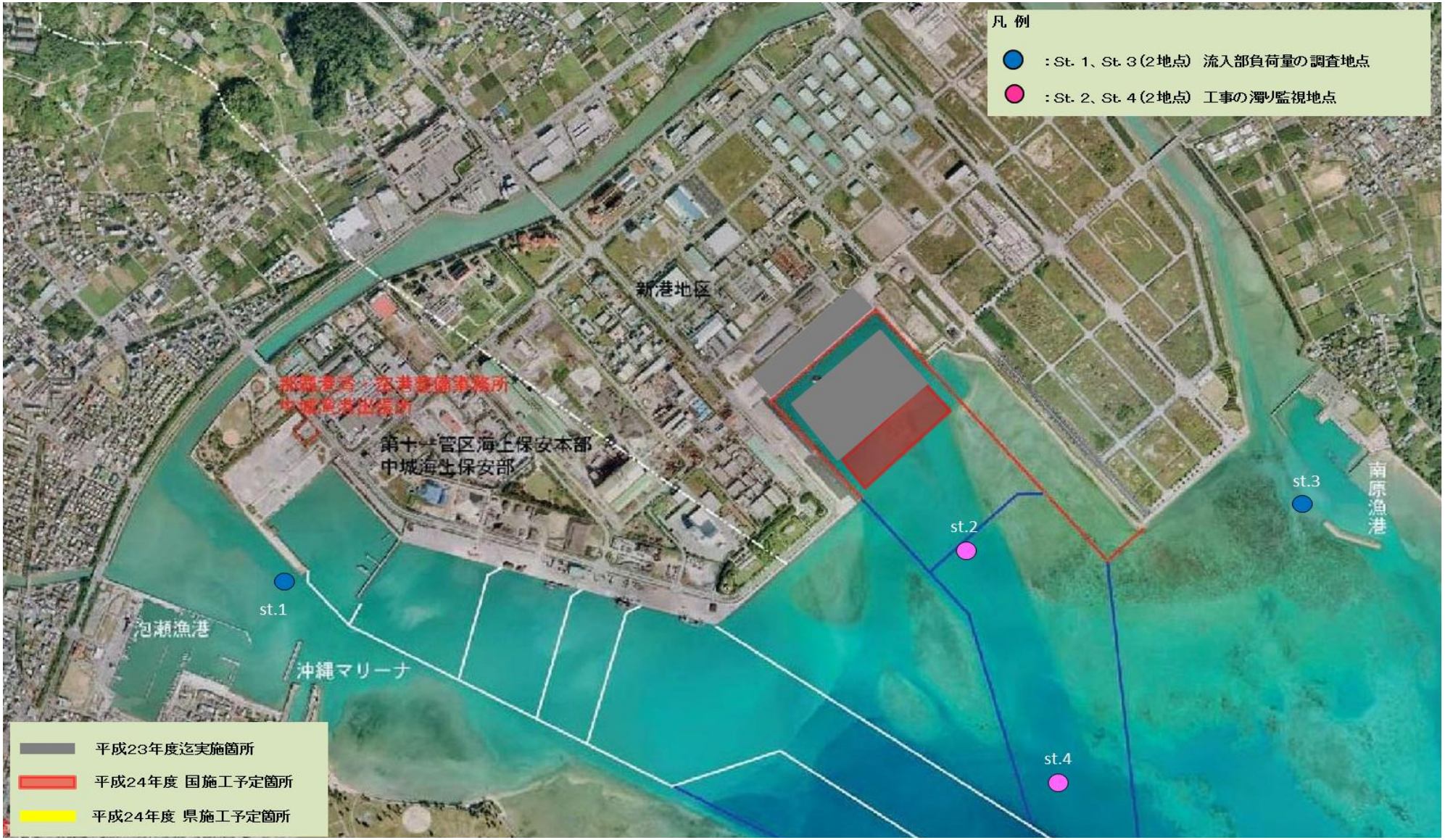
3. 工事における環境監視について

・海上工事の濁り監視地点

（泡瀬地区濁り監視地点）

・海上工事の濁り監視地点

（新港地区濁り監視地点）



参考

工事中の濁り監視地点の配置の考え方（平成２４年度）

１．地点配置の考え方

工事中の濁り監視地点は、潮汐に伴う岸沖方向の往復流を踏まえ、監視地点で測定した濁りの数値から、拡散状況が推定できるよう配置している。地点配置に当たっては以下を考慮している。

①濁りの発生源となる工事箇所の周囲（工事の進捗状況に応じて移動）
②陸域からの濁りの流入点となる河川等の位置
③影響を受ける可能性のある対象生物の分布域
④対象生物の分布域と工事箇所との間

２．監視頻度

海上工事期間中の濁りについては、泡瀬地区では毎日（10時と15時）、新港地区では週１日（10時と15時）実施する。

３．監視基準

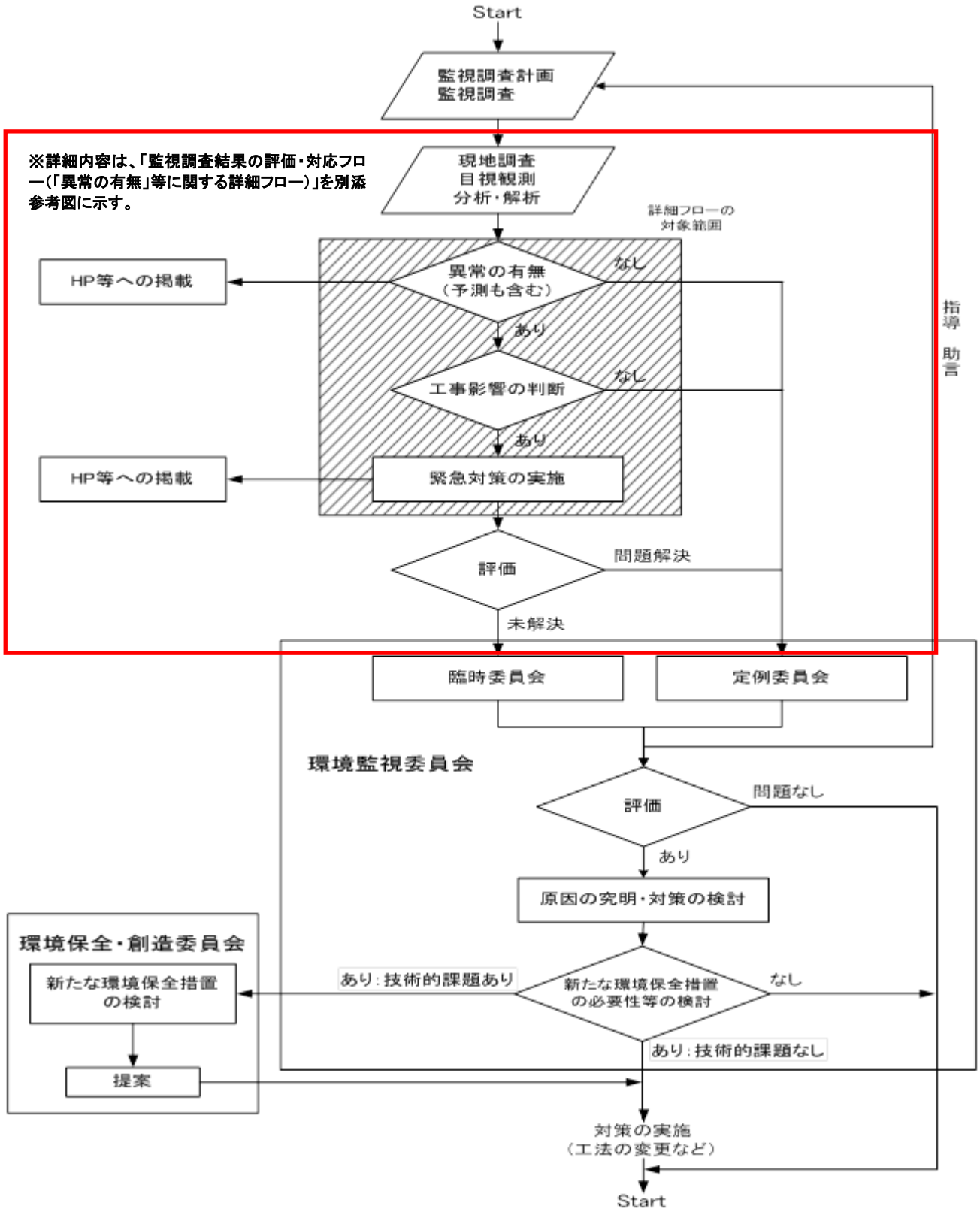
地区	地点	監視試験項目	監視基準
泡瀬地区	St.1～St.3	SS	7mg/L以下
	St.4～St.14		11mg/L以下
	St.15～St.17		－
新港地区	St.1～St.4		11mg/L以下

濁り監視地点一覧

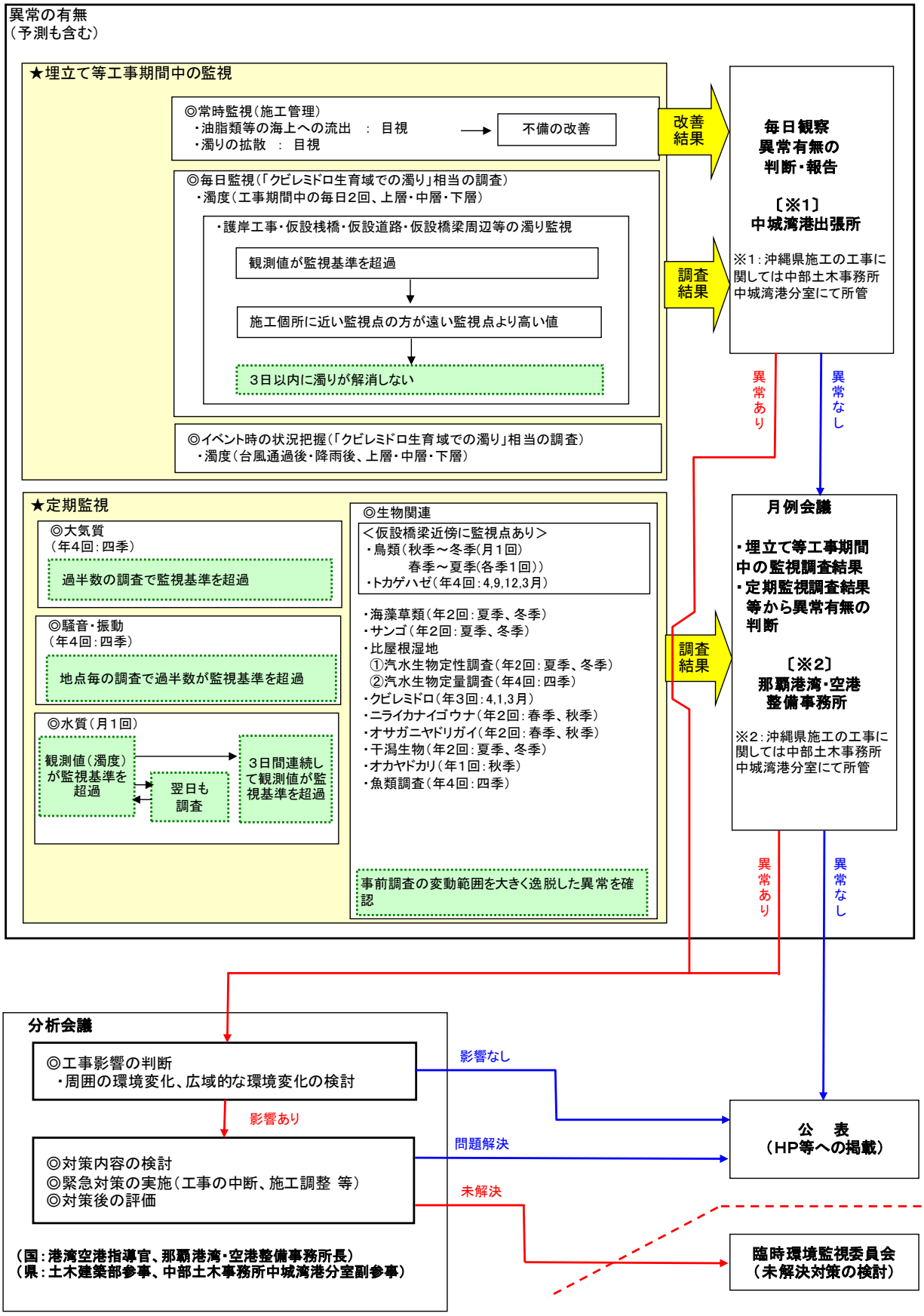
地区	地　点	区　分	役　割	地点配置の考え方
泡瀬地区	St.1	クビレミドロ生息地	生息地の濃度	③
	St.2	クビレミドロ基本監視	海上工事箇所からの拡散	④
	St.3			④
	St.4	海上工事（浚渫工事）の監視	北東への拡散（海藻草類、サンゴ等）	① ③
	St.5	陸上工事（護岸築造工事）及び海上工事（圧送船による埋立工事）の監視	北への拡散（海藻草類、サンゴ等）	① ③
	St.6		北東への拡散（海藻草類、サンゴ等）	① ③
	St.7	海上工事（圧送船による埋立工事）の監視	南西への拡散（海藻草類、サンゴ等）	① ③
	St.8	海上工事（突堤工事）の監視	南西への拡散（海藻草類、サンゴ等）	① ③
	St.9		南東への拡散（海藻草類、サンゴ等）	① ③
	St.10	海上工事（圧送船による埋立工事）の監視	東への拡散（海藻草類、サンゴ等）	① ③
	St.11		南への拡散（海藻草類、サンゴ等）	① ③
	St.12		南への拡散（海藻草類、サンゴ等）	① ③
	St.13		東への拡散（海藻草類、サンゴ等）	① ③
	St.14		北への拡散（海藻草類、サンゴ等）	① ③
	St.15	流入負荷量の調査	市街地からの流入	②
	St.16		比屋根湿地等からの流入	②
	St.17		比屋根湿地等からの流入	②
新港地区	St.1	流入負荷量の調査	市街地からの流入	②
	St.2	海上工事（浚渫工事）の監視	南東への拡散（サンゴ）	①
	St.3	流入負荷量の調査	市街地からの流入	②
	St.4	海上工事（浚渫工事）の監視	南東への拡散（サンゴ）	①

参考

工事におけるモニタリングフィードバック



参考



【参考図　　監視調査結果の評価・対応フロー（「異常の有無」等に関する詳細フロー）】